

# ★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

171号



2015年7月21日

常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

## ○ 図書館では再度 説明会がありました

7月8日(水) 18時30分から中央図書館地下1F 視聴覚室で、区側の説明会がありました。

今回は常盤台住民以外にも、区のホームページでたまたま知った人など、23人ほどの参加者がありました。しかし、図書館内には全く掲示がなく、利用者に周知されていたらもっと参加者は多いはずでした。

平和公園の近所の人、寝耳に水と驚いており、まだ平和公園近辺住民への説明が行われていないことに驚きました。

相変わらず、図書館側の説明は、住民の意見を聞くと言うより、方針ありきで、もうすでに大方決まっています。

参加者の概ねの意見は、①常盤台に、図書館機能を残して欲しい ②現図書館跡に新たに集会施設は必要ない ③平和公園の一部に図書館を移すのは反対(平和公園の使用に限られてしまう)等

その他、オリンピックに向けて建設費が上がっているこの時期を避けた方が良い、東武鉄道と話し合い、ときわ台駅をビルにして、その一部を、図書館を含めた複合施設にする、等の意見が出ました。

国立競技場の計画が見直される事となったように、中央図書館改築案も白紙に戻し、広報をきちんとし、広く住民の意見を聞いてから方針を決めるなど、住民が納得できる図書館になるよう、区の勇断を求めては如何ですか。

同様の説明会が25日(土) 10時から常盤台地域センターであるそうです。

## ○ 宇都宮バスツアーへのお誘い

### 8月2日(日) 常盤台駅出発

かねてから計画していた宇都宮への見学バスツアーが決まりました。目的は主に80周年を迎える常盤台駅の兄貴分である南宇都宮駅を見に行くこと、大谷資料館や大谷石の建築を見学すること、宇都宮ギョウザを食べること、などです。おりしも宇都宮は「宮祭り」の最中とかで、滅多に見られないお祭りを体験できると思います。夏休みの宿題レポートに悩んでいる小学生にも面白いでしょう。

中型バスの貸切26名定員

費用 5000円程度+昼食代・見学料金

申し込み 03-3960-3869

## ○ 憲法カフェ

7月6日(月) 午後1時30分から南常盤台集会所洋室で、「明日の自由を守る若手弁護士会」の伊藤朝日太郎さんが、自衛権などの問題を解りやすく丁寧に解説してくれました。

国会で質疑応答が進むにつれ、政府の方針に反対する意見がふえているのに、強行採決という異常事態なので、次回はなるべく早く開催してほしいと思いました。

## ○ おかめ桜また枯れるのでは？

北口公園のおかめ桜の苗木は、2本目の植樹ですが、またもや枯れそうです。原因は何でしょうか。やはり、今は移植に適した時期ではないのでは？

## 公園のトイレでボヤ騒ぎ

七月七日（火）の夕方、常盤台公園内の「だれでもトイレ」で出火騒ぎがありました。原因は不明、放火の噂がしきりです。当分使用禁止になりました。あたりは消防車やパトカーで、一時、渋滞状態になりました。

## 言葉の幾つか（4）

\* 日本は法治国家

前回取り上げた「肅々と」に類似した上から目線の使われ方をよくするのが「日本は法治国家だ」という言葉です。

「法律」は人間が作るもの。その基本的精神は弱者救済にある、と思うのですが、法律学者はどう考えるのでしょうか。物理的に社会的に、色々な点で弱者に立つ者が、不利にならぬよう法律は作られたはず。

しかし、いったん作られた法は、それを守ることで自体が目的になってしまい、根本の精神を忘れてしまい勝ちです。そこで私達がマンション反対運動で、よく聞かされたのがこの言葉「日本は法治国家だ」でした。そこにはなんとも冷たく人間性を失った法律至上主義ともいえるべき傲慢さがありました。

皮肉にも今、この言葉を唱えた側の人たちが、憲法でさえ解釈次第と正規の手続きをせずに変更、不戦の誓いを破り、他国の戦争にまで乗り出そうとするのを見ると、果たして日本は法治国家なのか、大いに疑問です。

## 安保関連法案強行採決と

### 国立競技場建設案白紙撤回

二千五百億円もの巨額の建設費にふくれあがった国立競技場建設計画が、国民的反対に会い、ついに白紙撤回となりました。

安保法案強行採決に対する不満の火消し役に政府が急遽打ち出したようですが、最近賢くなった国民は、それはそれ、これはこれ、と簡単にだまされたいようです。

もともとオリンピックピック招致に燃えていたわけでもない都民には、東日本災害の後始末もできていないのに、五百億の追加負担も舐添都知事が吞まされた上、経過が全く不透明なので一層嫌気がさしていたことが土台にあります。

白紙になったついでに、開催時期も考え直すべきでしょう。

二〇二〇年のオリンピックの開催時期は、七月二四日～八月九日、パラリンピックは八月二五日～九月六日となっています。

私達が今年もこれから耐え忍ばねばならない酷暑の真つ最中です。しかも年々暑さはひどくなる一方です。

一説ではアメリカのバスケットのリーグ戦が秋にあるからと言う話ですが、そんなことで本当にこの時期が決まったのでしょうか。

このままだと熱中症で観光客もばたばた倒れるのでは？ 冷房用に電力も要るといって、原発再稼働の理由にされるのも真つ平です。

前の東京オリンピックピックは十月の良い気候の中で行われました。開催時期も白紙に！

## 常盤台公園のはなづくり

スズメは水浴びより砂浴びの方が好きなようです。乾いた地面にぼこぼこ穴があいているのは、彼らの悦楽の跡です。大体は羽を震わせて羽根の奥に砂を送り込んでいます。身体についている寄生虫をとるためと言われていますが、暑い砂に埋もれて、気持ち良さそうになんと2分間もじっとしているスズメを見ました。うつつすらと嘴を開けてうつとりとしていました。温泉につかって「極楽、極楽！」と言っている人間そっくりでした。

ペチュニアは雨に弱く、六月に植えた苗がうまく育ってくれていません。苗のでき不出来もあるし、その年の天候にもより、生き物は難しいものです。日々草も大雨と強い日差しのダブルパンチで枯れてしまいました。残念！

ヒマワリの種をまいた所に大体の見当でペチュニアを植えてしまったので、ヒマワリの苗が少なくなってしまうました。残ったものはすくすくと伸びています。盛夏をたくましく過ごして秋まで咲く彼らは本当に強い植物です。